

たぐち あ
宅地のかさ上げ

たんぼダム

流域治水とは、流域に関わるみんなが協力して水災害を防ぐ取り組み
力を合わせて、安心して暮らせるまちをつくらう

詳しくは
こちらから

ひなん
避難訓練

流域治水に取り組む 3つのステップ

1

し
知る

水災害の危険性を
理解する

2

とら
捉える

当事者意識を持ち
どう対応すべきか
考える

3

こうどう
行動する

状況を判断し
適切に動く

話し合ったタイムラインを書いておこう

☐ いつ

☐ どこへ

☐ どのように

避難する！

お問い合わせはこちら

京都府建設交通部河川課

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町

TEL:075-414-5291 / FAX:075-432-6312

京都府ホームページ

<https://www.pref.kyoto.jp/kasen/ryuikichisui/>

京都府 流域治水



流域治水の取り組み

京都府 × 立命館大学

本リーフレットは
立命館大学建築光環境デザイン・設備技術研究室との
共同研究のもとに制作しました

構成・図 稲川陽菜

とら
捉える

たんぼ
ダム

みんなで守る私たちの地域
りゅういきちすい

流域治水の取り組み

に
げ
る

も
た
か
ま
る

た
か
ま
る

に
げ
る

①高台移転



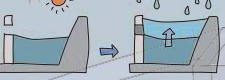
川があふれる恐れのあるところに
住む人が高台に家移す

②宅地のかさ上げ



川があふれても家の浸水は防ぐため
宅地をかさ上げる

③事前放流
(ダム・農薬用ため池等)



大雨の前に放流し雨水を
たくさん貯める

④田んぼダム



排水口を小さくし雨水を
一時的に田んぼにためる

⑤校庭・公園貯留



排水口を小さくし雨水を
一時的に校庭や公園にためる

⑥雨水の利活用



雨水をためて植物の水やりなどに使う

⑦タイムラインの作成



いつ・どこへ・どのように
避難するのかを決める

⑧避難訓練に参加



地域の避難訓練に参加する

⑨防災情報の収集



ハザードマップ・避難所などを
確認しておく

平常時はハザードマップ
降水時は雨量や水位、
河川カメラなどを確認する

様々な媒体で情報収集



家族間で情報共有

